

製品名: LYPLA1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13515**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	LYPLA1
別名	LYPLA1; APT1; LPL1; Acyl-protein thioesterase 1; APT-1; hAPT1; Lysophospholipase 1; Lysophospholipase I; LPL-I; LysoPLA I
遺伝子 ID	10434.0
SwissProt ID	O75608
免疫原	抗血清はヒト LYPLA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 51-100

背景

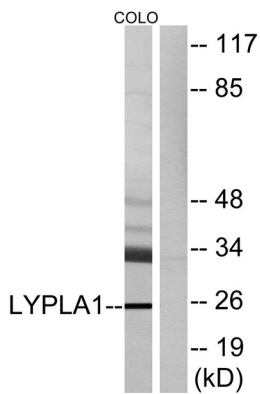
この遺伝子は、 α/β 加水分解酵素スーパーファミリーのメンバーをコードする。コードされるタンパク質はホモ二量体として機能し、

脱パルミトイル化活性とリゾホスホリパーゼ活性の両方を示し、Ras の局在およびシグナル伝達に関与している可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。この遺伝子の擬似遺伝子は、第 4、6、7 染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]、触媒活性: パルミトイルタンパク質 + H₂O = パルミチン酸 + タンパク質。、機能: 三量体 Gα タンパク質や HRAS などのタンパク質中の S-アシル化システイン残基から脂肪酸を加水分解する。また、リゾホスホリパーゼ活性は低い。、類似性: AB 加水分解酵素 2 ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体。、

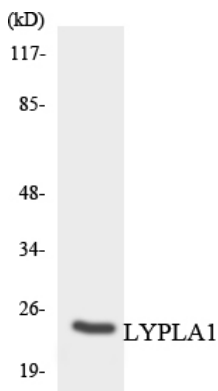
研究分野

グリセロリン脂質代謝;

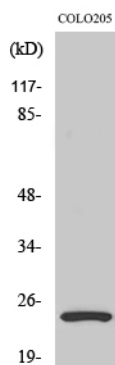
画像データ



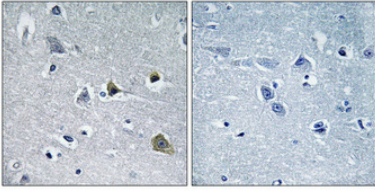
LYPLA1 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LYPLA1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



LYPLA1 ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。